



平成 29 年 6 月 30 日(金)発表

照
会
先

職業安定部職業安定課
課長 大野 彰久
地方労働市場情報官 宮原 昌俊
電話 092 - 434 - 9801 (ダイヤルイン)

九州・沖縄ブロック内雇用情勢報告

(平成29年1～3月四半期分)

厚生労働省では、全国を9つのブロックに分け、それぞれのブロックごとの雇用情勢をまとめた「ブロック別雇用情勢報告（平成29年1～3月四半期分）」を作成し、平成29年6月9日に公表しました。これは、同日に開催した第5回主要労働局長会議の結果をとりまとめたものです。

福岡労働局においては、九州・沖縄ブロック各労働局（福岡局、佐賀局、長崎局、熊本局、大分局、宮崎局、鹿児島局、沖縄局）における雇用情勢（平成29年1～3月四半期分）を取りまとめましたので、公表します。

九州・沖縄ブロックの雇用動向

【平成29年1－3月期の雇用情勢判断】

「雇用情勢は、引き続き改善している」 (判断維持)

平成29年1－3月期

	就業地別 有効求人倍率	受接地別 有効求人倍率	新規求人数 増減率	新規求職者数 増減率	正社員 有効求人倍率	雇用保険 被保険者数 増減率	雇用保険 受給者実人員 数 増減率
	【季調値】 (対前期差) (単位:倍、ポイント)	【季調値】 (対前期差) (単位:倍、ポイント)	【季調値】 (対前期比) (単位:%)	【季調値】 (対前期比) (単位:%)	【原数値】 (対前年同期差) (単位:倍、ポイント)	【原数値】 (対前年同期比) (単位:%)	【原数値】 (対前年同期比) (単位:%)
九州・沖縄	1.33 (0.02)	1.28 (0.01)	▲1.9	0.2	0.82 (0.13)	2.1	▲6.4
福岡県	1.32 (0.01)	1.40 (0.01)	▲4.1	▲1.4	0.93 (0.14)	2.5	▲7.3
佐賀県	1.38 (0.02)	1.18 (0.01)	▲2.1	1.7	0.73 (0.10)	1.3	▲14.1
長崎県	1.22 (▲0.02)	1.13 (▲0.02)	▲4.3	▲1.6	0.79 (0.08)	1.8	▲6.0
熊本県	1.64 (0.02)	1.50 (0.02)	0.1	1.9	0.97 (0.23)	1.4	3.8
大分県	1.42 (0.04)	1.34 (0.05)	0.7	▲1.4	0.98 (0.19)	1.7	▲5.9
宮崎県	1.46 (0.07)	1.34 (0.07)	▲1.4	▲0.9	0.80 (0.12)	1.8	▲7.6
鹿児島県	1.18 (0.02)	1.11 (0.02)	0.2	0.5	0.77 (0.14)	1.3	▲10.4
沖縄県	1.13 (0.02)	1.04 (0.02)	0.5	6.1	0.42 (0.07)	3.8	▲6.4

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

雇用動向におけるトピック

➤ 求人・求職等の動向

- 有効求人倍率(季節調整値)は1.28倍で前期と比べて0.01ポイント上昇。新規求人数(同)は前期比1.9%減少、新規求職申込件数(同)は前期比0.2%増加。
- 雇用保険被保険者数(月末被保険者数)の平均値は417万8千人と前年同期比2.1%増加。一方、雇用保険受給者実人員の平均値は5万1千人と前年同期比6.4%減少。
- 3月の沖縄県の有効求人倍率(季節調整値)は1.01倍で6か月連続で1倍を上回った。

➤ 産業別新規求人等の動向

- 新規求人数(原数値)は、最大の医療・福祉(求人全体の25.9%)が高齢化を背景に前年同期比7.6%増加、これに次ぐ卸売・小売業(求人全体の16.0%)がコンビニ・ドラッグストアの新店効果から同3.9%増加。製造業は主力の食品品製造業が堅調なうえ、自動車関連及び半導体関連も回復基調にあり同15.8%増加。建設業も住宅建設や復興需要から同25.9%増加となっており、業種を問わず改善基調にある。
- 一方、新規求職者数(原数値)は、若年層を中心に前年同月期比3.9%減少。

企業の生の声

【女性の活躍促進について】

- 子どもがいる女性社員も多いため、子育て中の社員に何がなか、どうしたら育児休業後スムーズに職場復帰できるかなど会社として常に考えている。(食品製造業)(福岡局)
- 女性活躍推進のためには、特に男性中間管理職の意識改革が必要と痛感している。(金融業)(長崎局)
- 小売業(スーパー)では、女性パートが多く、正社員への転換を希望しない状況があるため、管理職登用のネックになっている。(卸・小売業)(宮崎局)
- 女性の活躍推進のため、労働時間等に対する取組を行い、職場環境の改善にもつなげている。(卸・小売業)(鹿児島局)
- 女性活躍について、トップの積極的な姿勢が明確になったことで、目標達成のための取組を行いやすくなった。(宿泊・サービス業)(鹿児島局)
- 企業単位で女性限定のバスの運転体験会を実施。開催に当たっては子供の同伴も歓迎する旨の周知も実施。(運輸業)(大分局)
- 女子学生の応募を増やすため、人事採用担当に女性を入れ、対外的に広報したところ、単独会社説明会への参加者が1~2割アップした。(建設業)(佐賀局)

学卒窓口の声

- どのような求職者が就職に結びつきやすいと感じているか。
 - ・コミュニケーション能力が高い者。(全労働局)
 - ・自己理解ができており、将来ビジョンが明確である者。(全労働局)
 - ・関心がある業界や企業、職種の情報収集を行い、企業研究・分析ができている者。(全労働局)
- 求職者の重視している要素はどのようなものがあるか。
 - ・労働条件(勤務時間、残業時間、休日、賃金等)。(全労働局)
 - ・勤務地、通勤時間、県外等への転勤の有無。(福岡局、宮崎局、鹿児島局、沖縄局)
- 最近の求職者の特徴的な動きはないか。
 - ・業種や職種でなく、労働条件を重視する者が多い。(全労働局)
 - ・コミュニケーション能力に不安を抱える者が多い。(全労働局)
 - ・親や先生、ネットなどの情報に影響を受ける者が多い。(全労働局)
 - ・震災後、地元志向の者が増えている。(長崎局、熊本局)